

防災講話・喫食訓練を実施しました



令和元年12月6日(金)に、環境委員の1学年・2学年を対象とした喫食訓練を実施しました。期末テスト最終日ということもあり、2時間目のテスト終了後におかずのみのお弁当を持参して集合し、この日の喫食内容であるアルファ米(白米、わかめご飯、ひじきご飯のいずれかを事前に選択)に水を投入する作業を行いました。

アルファ米は水を投入してから、喫食できるまでに60分かかります。この60分間に防災講話を行いました。講師は「川崎市ぼうさい出前講座」より依頼し、昨年度に引き続き、麻生区役所危機管理担当の中島健太氏にお越し頂きました。

この日、お話頂いたテーマは大きく分けて2点でした。前半は震度7を想定したシミュレーション映像を見た2後、『備える。かわさき』のリーフレットに沿って、災害時に備え、どのようなことに気をつけたらよいのかということを中心にお話頂きました。災害が起こった場合に、避難所付近で火災が発生した場合は行かない方がよい、また自宅の損壊がひどくない場合は自宅にとどまった方がかえって安全であるなどのお話を通して、いざ災害に遭遇した場合に慌てず適切な判断をすることの大切さを実感しました。また、マンションなどの場合は共有で使っている下水管が損傷した場合、臭いなどの二次災害の恐れがあるなど、災害への備えは様々な想定を踏まえて行うことが大切であることが伺えました。



後半は、今年9月に発生し、川崎市にも多大な被害を及ぼした台風15号・19号の被害状況などのお話を現地の写真を交えてお話頂きました。川崎市でも想定以上の降水量を記録し、甚大な被害で出たことが説明と現地の写真を通して改めて伺えました。特に、自分がどのような住居に住んでいるのかによって、とるべき避難方法が異なるということ(例:2階に住んでいる場合は、同じ建物の4階に避難するなどの「垂直避難」が有効である。)など、講話を通して、これまで知らなかった視点で防災に備える素地ができたように思います。生徒たちも、これまで思いつかなかった視点でのアドバイスに、熱心に耳を傾けていました。



防災講話後、アルファ米の喫食訓練に移りました。アルファ米は普段食べているお米とは若干異なるものの、味も食感もほとんど変わらず、1袋で1日分(3食分の最低限の量)にも関わらず、完食している生徒が多くいました。

今回の防災講話・喫食訓練を通して、生徒たちの防災意識が高まることを願っています。また、今回開催にあたり、環境委員の生徒たちを始め、川崎市・麻生区の職員の方々にサポートいただきました。ありがとうございました。



<防災講話・喫食訓練アンケート集計結果>

回答数:27名

～防災講話に関して～

1. 今日の講演は勉強になりましたか			
すごく勉強になった	15	勉強になった	12
			あまり勉強にならなかった
			0
2. 知っている内容でしたか			
ほとんど知っていた	5	ある程度は知っていた	14
			あまり知らなかった
			8
3. 防災への意識は高まりましたか			
すごく高まった	10	ある程度は高まった	17
			あまり高まらなかった
			0

～喫食訓練に関して～

4. アルファ米は食べたことはありますか			
はい	13	いいえ	14
5. 作りやすかったですか			
はい	23	まあまあ	4
			いいえ
			0
6. 味はどうでしたか			
とてもおいしい	4	普通	20
			あまりおいしくない
			3
7. 量ははどうでしたか			
多い	12	ちょうど良い	14
			少ない
			1

～自由回答～(一部抜粋)

- ・ 今回のこの講話を通して、私は自分の町のどこが危ない、そしてどのような災害が起きるかなどもう一度見直して、把握していきたいと思った。そして自分だけではなく、家族とのつながりも深めて、情報共有も心がけていきたいと思った。
- ・ あまり自分は防災についての知識はなかったが、今回の講話で防災に関することをとても細かく知れたし、被害の現状をよく知れた。
- ・ ハザードマップの更新を意識しておこうと思った。集団心理に惑わされず自分で考えるようにしたいと思う。
- ・ まずは自分の身を守り、揺れが収まったら周囲の確認、玄関までのドアは開けておく、おもちゃも大切(子供の精神を守るため)などを様々なことが分かった。
- ・ マンションに住んでいるので、マンションの話はかなり参考になった。大切なものを集めて、前々から準備をする必要性が分かった。
- ・ ペットが避難所に行ってはいけないというのを聞いて、飼い主とバラバラになってしまうのはかわいそうだけど、みんながいる公共の場ではゆずり合いが必要なことが分かった。
- ・ 私達の住んでいる川崎市に起こりうる可能性のある震災などの新しい知識をつけることができた。また各場面ごとの震災に対する適切な対応を画像や動画等を用い説明されていたので、分かりやすく学ぶことができた。今回の防災講話を聞いたことにより、間違っていた知識等が正すことができたのでよかった。今回の防災講話、喫食訓練を通して、こうした自然災害に向き合い適切な行動をとり、災害に備えていきたい。
- ・ 各地域によって防災の仕方が違うので、今住んでいるところの周りをよく知って、もし起こっても冷静に慌てず対処していきたいと思った。水や食料などはもちろん、歯ブラシなど、生活していく上での必要最低限のもの、生命が危険にならないようにしていきたいと思った。
- ・ 災害時に情報の入手がちゃんとできるように、アプリなどを入手しておこうと思った。あと、自分はマンションに住んでいるので、マンション特有のリスクを知ることが大切だと思った。